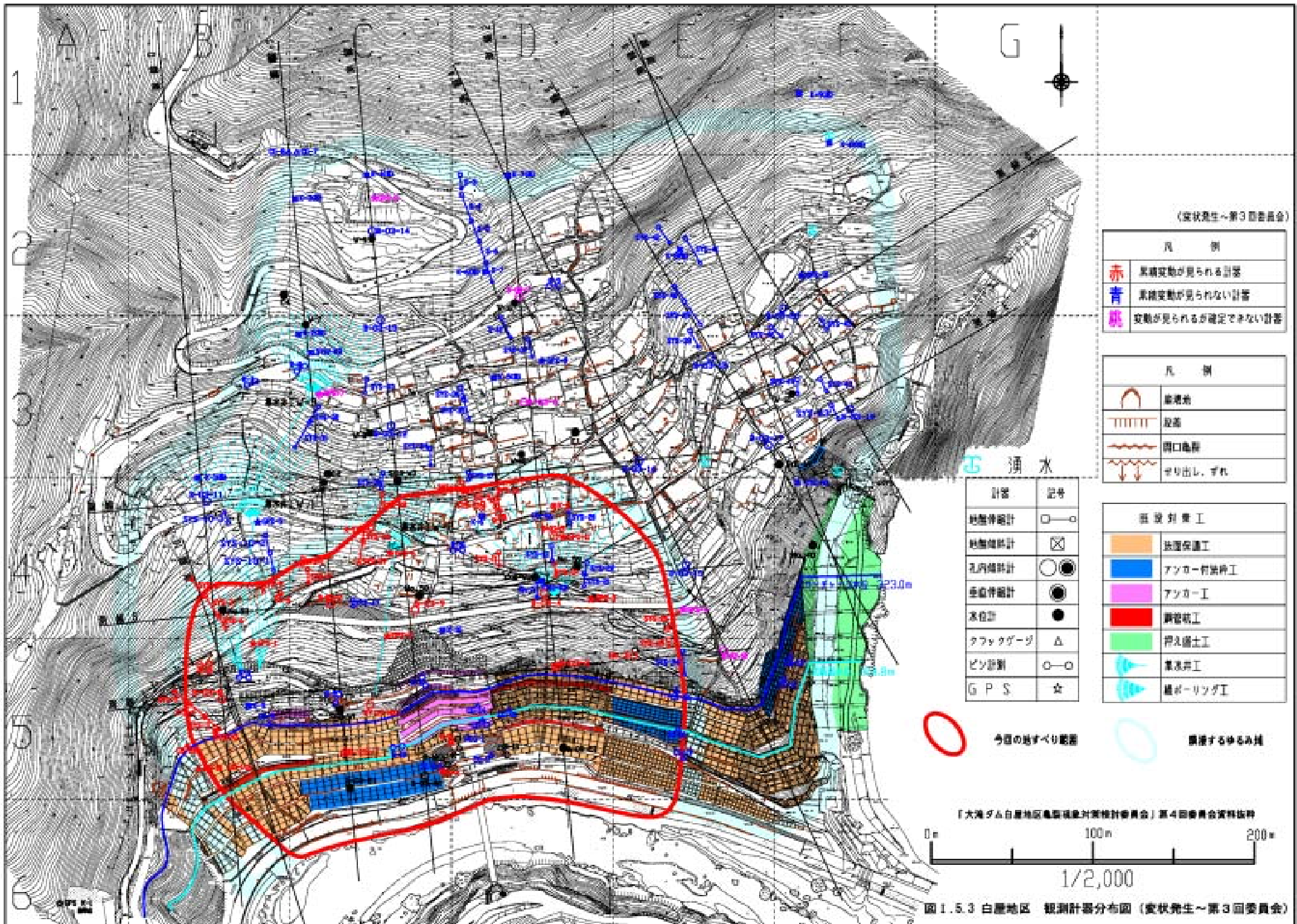


・大滝ダム貯水池斜面の現況等

事 項	要 点	備 考																																
5.2 地すべり変動状況	<p>白屋地区では、斜面変動状況を把握する目的で、図 .5.3 に示す地点において計器観測を実施している。観測計器を表 5.1 に示し、代表的計器変動図及び地下水変動図を図 .5.4～ .5.5 に示す。</p> <p>白屋地区においては、平成 15 年 3 月からの試験湛水により 4 月 25 日～ 5 月 14 日にかけて亀裂現象が確認された。そして 5 月 10 日より貯水位を 304.8m で維持した。その後、亀裂発生時に設置した地盤伸縮計等の計器観測結果により変動が累積していることから、早急な沈静化対策が必要であると考えられた。このため第 2 回委員会（8 / 2）後、十分な監視・観測体制の基に慎重に貯水位を降下させた。</p> <p>8 月 8 , 9 日の台風 10 号により変動が活発化したものの、約 258m までの貯水位の降下に伴い、変動は沈静化した。</p> <p>平成 16 年度は、6 月～ 10 月にかけて、台風に伴う豪雨が頻発したため、一時期変動が認められた。</p> <p>地質状況及び計器観測結果から決定された地すべり範囲及び緩みゾーンを図 .5.3 に、すべり面及び緩み域下面の断面図を図 .5.6～ .5.8 に示す。</p> <p style="text-align: center;">表 .5.1 観測計器概要</p> <table border="1" data-bbox="691 793 2430 1478"> <thead> <tr> <th>観測計器</th> <th>記号</th> <th>実施状況</th> <th>目的</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地盤伸縮計</td> <td>SYS-S-</td> <td>53基</td> <td>亀裂現象の変動状況及び、白屋地区の変動範囲を把握する。また、変動量により警戒・避難体制の資料とする。</td> </tr> <tr> <td>地盤傾斜計</td> <td>K-</td> <td>11基</td> <td>地盤変動状況及び変動範囲を把握する。</td> </tr> <tr> <td>孔内傾斜計</td> <td>B-03-</td> <td>22箇所</td> <td>調査ボーリング孔を利用して、地山内の変動の有無及び変動位置を確認する。</td> </tr> <tr> <td>パイプ歪計</td> <td>B-03-</td> <td>5孔</td> <td>孔内傾斜計観測不能後の地山内の変動の有無及び変動位置を確認する。</td> </tr> <tr> <td>地下水位</td> <td>B-03-W-他</td> <td>20孔</td> <td>貯水位変動及び降雨に伴う地山内部の水位変動の把握。</td> </tr> <tr> <td>クラックゲージ ピン計測</td> <td>CG-R-</td> <td>22基</td> <td>人家等構造物に亀裂が発生した箇所の変動を把握する。</td> </tr> <tr> <td>G P S</td> <td>GPS-</td> <td>11基</td> <td>変動範囲及び変動状況を把握する。</td> </tr> </tbody> </table>	観測計器	記号	実施状況	目的	地盤伸縮計	SYS-S-	53基	亀裂現象の変動状況及び、白屋地区の変動範囲を把握する。また、変動量により警戒・避難体制の資料とする。	地盤傾斜計	K-	11基	地盤変動状況及び変動範囲を把握する。	孔内傾斜計	B-03-	22箇所	調査ボーリング孔を利用して、地山内の変動の有無及び変動位置を確認する。	パイプ歪計	B-03-	5孔	孔内傾斜計観測不能後の地山内の変動の有無及び変動位置を確認する。	地下水位	B-03-W-他	20孔	貯水位変動及び降雨に伴う地山内部の水位変動の把握。	クラックゲージ ピン計測	CG-R-	22基	人家等構造物に亀裂が発生した箇所の変動を把握する。	G P S	GPS-	11基	変動範囲及び変動状況を把握する。	
観測計器	記号	実施状況	目的																															
地盤伸縮計	SYS-S-	53基	亀裂現象の変動状況及び、白屋地区の変動範囲を把握する。また、変動量により警戒・避難体制の資料とする。																															
地盤傾斜計	K-	11基	地盤変動状況及び変動範囲を把握する。																															
孔内傾斜計	B-03-	22箇所	調査ボーリング孔を利用して、地山内の変動の有無及び変動位置を確認する。																															
パイプ歪計	B-03-	5孔	孔内傾斜計観測不能後の地山内の変動の有無及び変動位置を確認する。																															
地下水位	B-03-W-他	20孔	貯水位変動及び降雨に伴う地山内部の水位変動の把握。																															
クラックゲージ ピン計測	CG-R-	22基	人家等構造物に亀裂が発生した箇所の変動を把握する。																															
G P S	GPS-	11基	変動範囲及び変動状況を把握する。																															



(変状発生～第3回委員会)

凡 例	
赤	異動変動が見られる計器
青	異動変動が見られない計器
桃	変動が見られるが確定できない計器

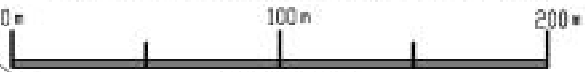
凡 例	
	崖境地
	段差
	開口亀裂
	せり出し、ずれ

計器	記号
地盤傾斜計	○—○
地盤傾斜計	⊗
孔内傾斜計	○●
垂直傾斜計	●
水位計	●
クワックゲージ	△
ピン計測	○—○
G P S	☆

既 設 対 策 工	
	法面保護工
	アンカー付鉄骨工
	アンカー工
	鋼管杭工
	押入盛土工
	集水井工
	掘削リング工

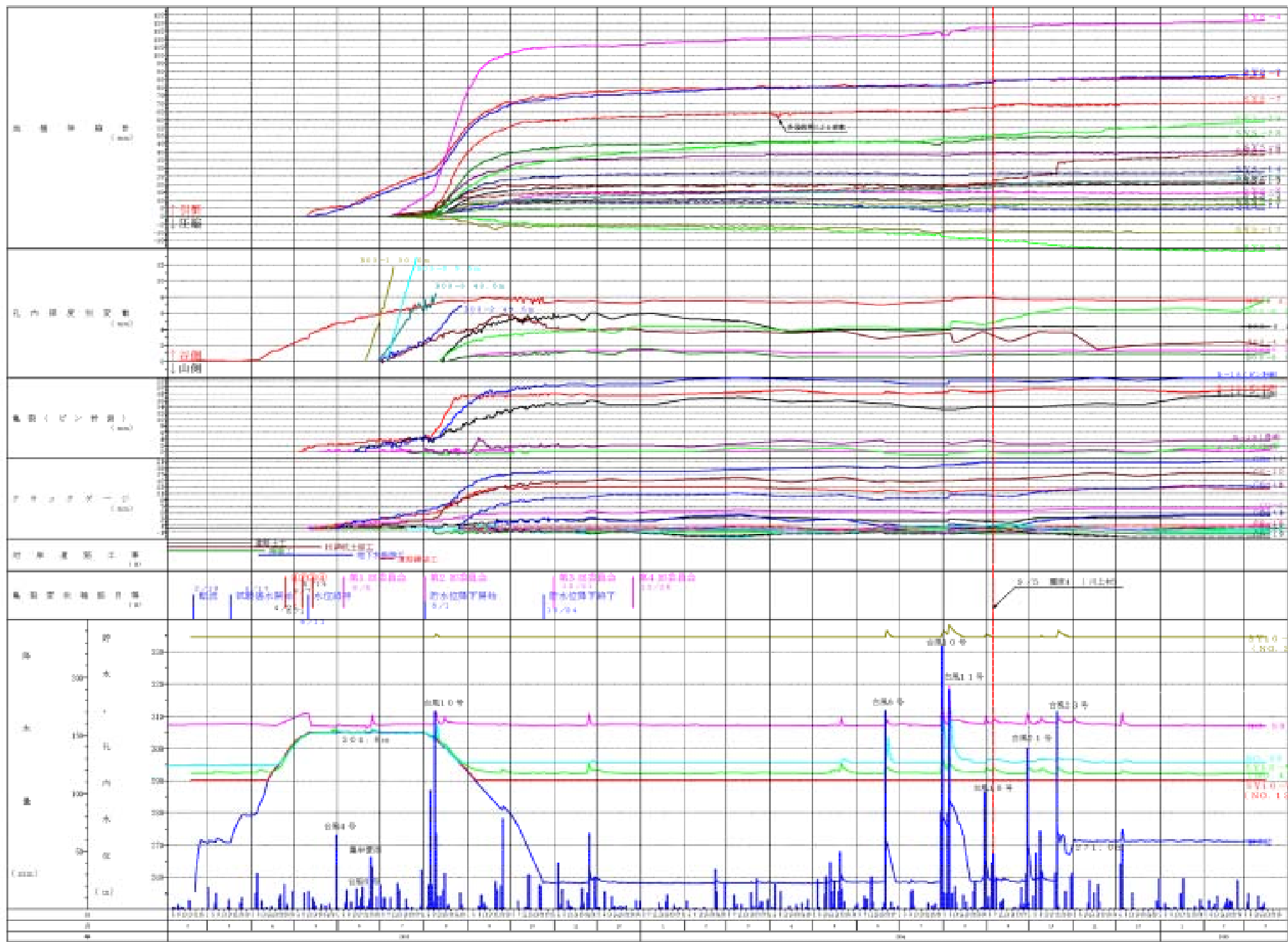
今回の地すべり範囲 調査するゆるみ域

「大滝ダム白屋地区亀裂現象対策検討委員会」第4回委員会資料抜粋



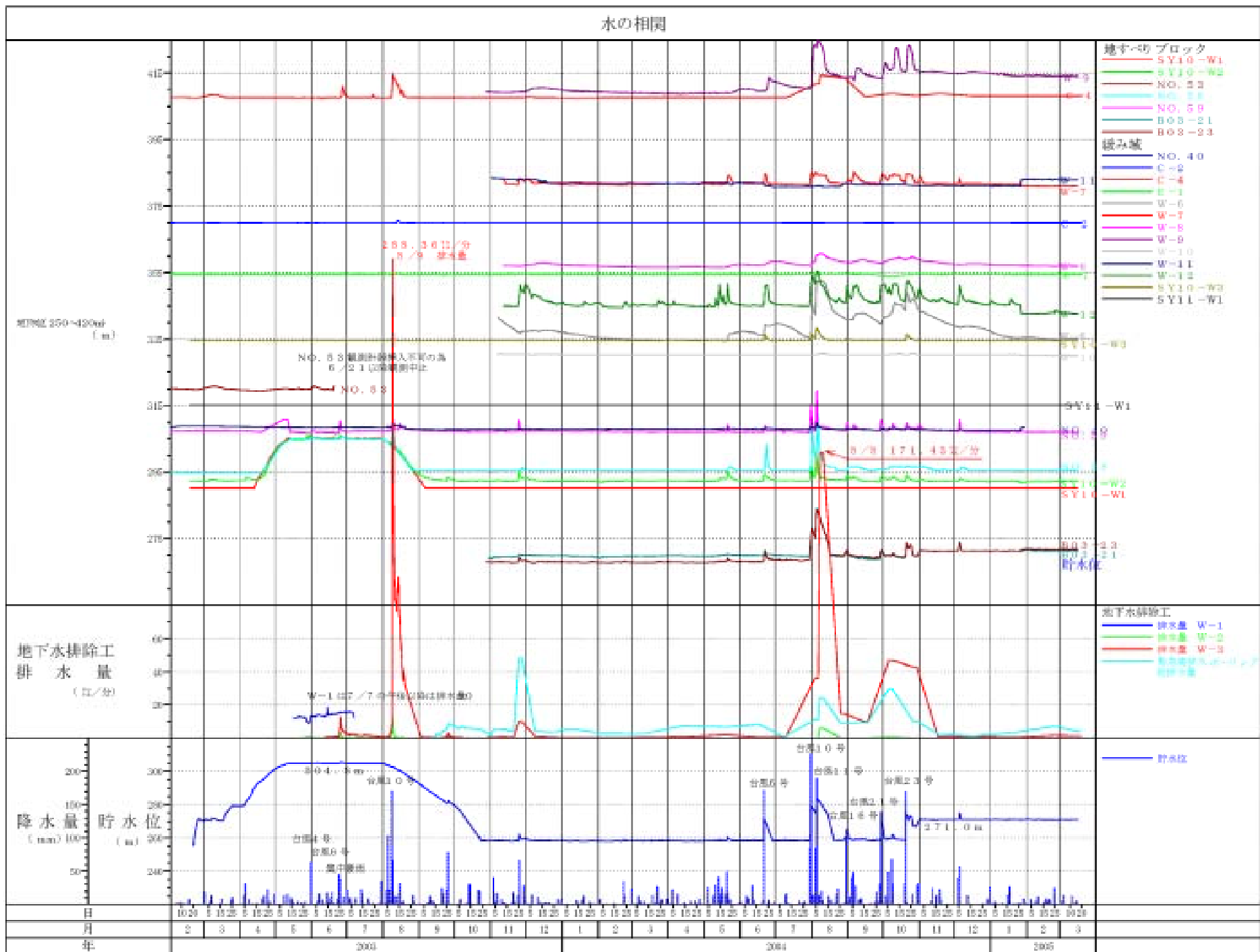
1/2,000

図 1.5.3 白屋地区 観測計器分布図 (変状発生～第3回委員会)



【白根ダム、白根川河川敷監視装置工事】第4回観測台資料に付属の観測データ追加

図 1.54 白根地区観測計器観測結果



風化（岩盤形状）区分（2測線）

S=1:2,000

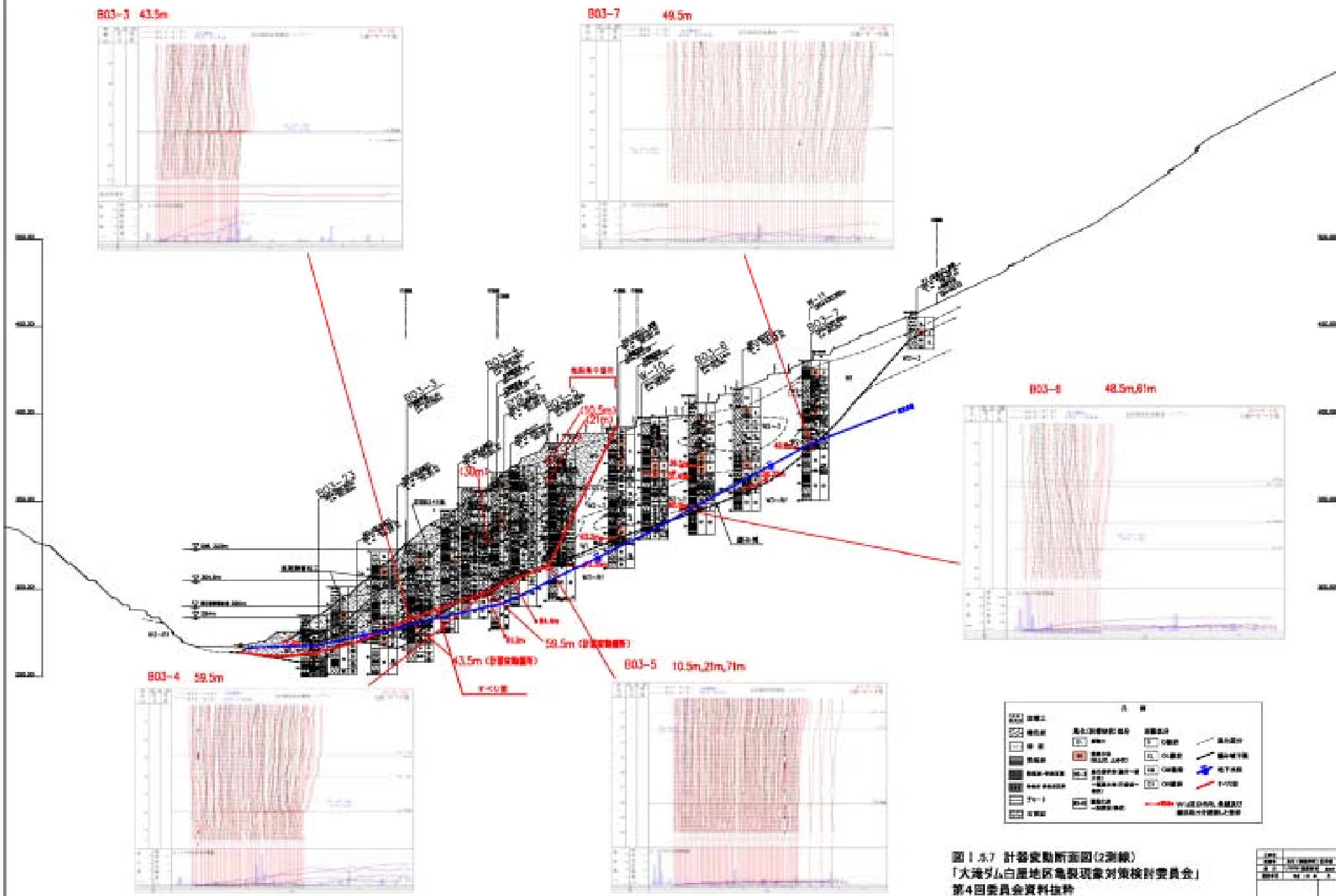


図1.5.7 計器変動断面図(2測線)
「大滝町白屋地区亀裂現象対策検討委員会」
第4回委員会資料抜粋

作成	2011年11月
確認	2011年11月
更新	2011年11月

風化(岩壁形状)区分
(A測線、B測線、C測線)

S=1:2000

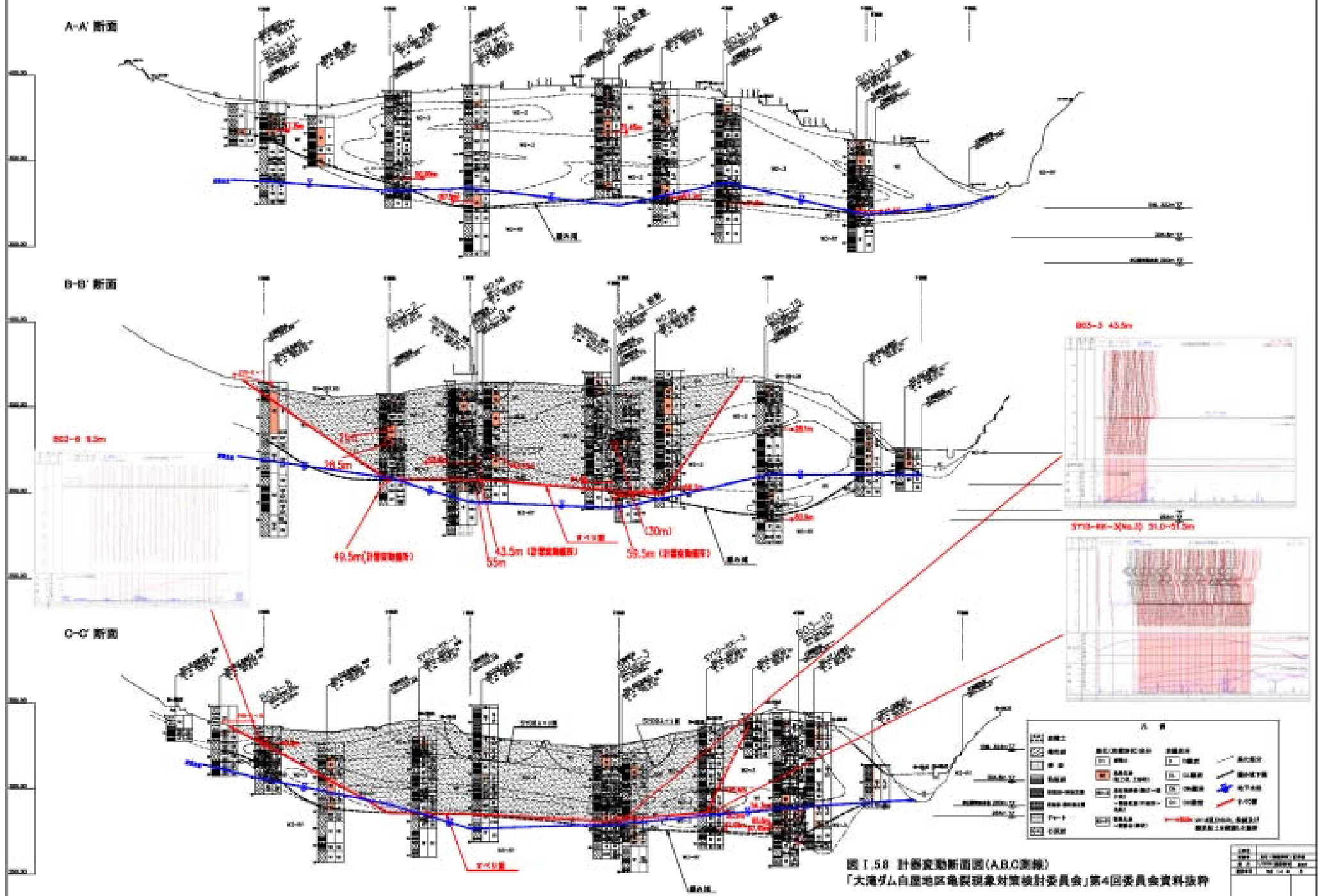


図 T.58 計器変動断面図(A,B,C測線)
「大滝ダム直阻地区亀裂現象対策検討委員会」第4回委員会資料抜粋